



カケハシ・プロジェクト（カナダ） カナダ若手リーダー招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】カナダの若手社会人 5 名を、様々な視察を通じて日本における多文化共生の在り方を学ぶこと、日加のビジネス連携の可能性について意見交換すること、パートナーシップを促進することを目的として、12 月 16 日～12 月 22 日まで招へいしました。参加者は、日本の政治・経済・社会・文化・歴史・外交政策についての知見を広げ、文化視察では文化継承への理解を深めました。さらに、関係各所との交流を行い、参加者各々が日本の魅力を発信しました。

【参加者】カナダの若手社会人 5 名

【訪問地】東京都、北海道

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

12 月 12 日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

12 月 16 日（月曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国

【来日時オリエンテーション】

12 月 17 日（火曜日） 東京都から北海道へ移動

【視察】ウポポイ（民族共生象徴空間）

12 月 18 日（水曜日） 【表敬訪問】北海道 総合政策部 国際局長 小林 靖幸 氏

【意見交換】北海道大学 アイヌ・先住民族研究センター

【視察】札幌市内（藤女子大学の学生と散策）

12 月 19 日（木曜日） 北海道から東京へ移動

【視察】麻布台ヒルズ

【意見交換】カナダ・ビジネス評議会 インド太平洋事務所 トレヴァー・ケネディ氏

【表敬訪問】外務大臣政務官 英利 アルフィヤ 氏

12 月 20 日（金曜日） 【表敬訪問】在日カナダ大使館 広報部 参事官 シリーヌ・ヒジャル 氏

【視察】深川江戸資料館

【視察】皇居

【意見交換】一般社団法人日本経済団体連合会

12 月 21 日（土曜日） 【視察】パナソニックセンター東京

【視察】浅草

【文化体験】抹茶

12 月 22 日（日曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
2024 年 12 月 17 日【視察】 ウポポイ（民族共生象徴空間）	2024 年 12 月 18 日【表敬訪問】 北海道総合政策部 国際局長 小林 靖幸 氏
	
2024 年 12 月 18 日【意見交換】 北海道大学 アイヌ・先住民族研究センター	2024 年 12 月 18 日【視察】 札幌市内（藤女子大学の学生と散策）
	
2024 年 12 月 19 日【意見交換】 カナダ・ビジネス評議会	2024 年 12 月 19 日【表敬訪問】 外務大臣政務官 英利 アルフィヤ 氏

 2024 年 12 月 21 日【文化体験】抹茶	 2024 年 12 月 22 日【報告会】集合写真
---	---

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

ウポポイ訪問で最も印象に残ったのは、アイヌ民族の豊かな文化と歴史を学ぶという体験でした。ガイドは、アイヌの伝統、言語、生活様式について詳しく教えてくれました。また、アイヌの伝統を引き継ぐ方々のことも紹介してくれました。アイヌのコミュニティーメンバーを紹介してくれたのですが、彼らは自分たちの歴史的な扱いに対する思いや、自分たちの遺産を守るために現在も続けている努力について率直に語ってくれました。個人的なエピソードや見解を喜んで共有してくださったことで、この訪問は深い意味を持ち、彼らの文化を学べたことに深い感謝の念を抱くことができました。

◆ 社会人

北海道庁とつながり、関係を深めるすばらしい機会となりました。ここではスタートアップ企業を誘致し、イノベーションを促進するための計画について聞くことができました。この分野で働く者としては、すばらしい機会となりました。特に半導体工場とデータセンター・プロジェクトの情報は印象的でした。北海道のテック・エコシステムの目覚ましい成長を目の当たりにするのが楽しみです。

◆ 社会人

北海道大学の先生方からアイヌの方々の苦難や、日本でアイヌがどのように認識され始めているかについて伺うことができ良かったです。カナダは過去にアイヌと非常に似た問題を経験しており、その類似性は明らかだと感じました。アイヌに関する様々な知識・経験を学ぶことは、今後、私が自身が活躍する業界で仕事をする上で大いに役立つと思います。

◆ 社会人

札幌の神社を大学生と散策したことは、文化的な体験であると同時に地元の方々と関わる機会でもあったため、とても楽しく過ごすことができました。学生たちは私たちを歓迎してくれましたし、親切で、神社での参拝方法を説明してくれました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 表敬先関係者

皆様に喜んでいただけたようで良かったです。今回の来道をきっかけに、参加された皆様も北海道について、発信いただければと存じます。

◆ **視察先関係者**

参加者の皆さんの気持ちや意欲が伝わってきました。活発な意見交換ができ、良い会になりました。

◆ **交流先参加者**

最初は英語でコミュニケーションをとることは難しく、上手く意思疎通できなかったらどうしようと不安に思っていたのですが、相手の方が私の拙い英語を理解してくれようとする姿にとっても感動したのと同時に、もっと色々な国の方と英語を使って交流したいという気持ちがより一層強くなり、英語学習へのモチベーションが高まりました。また、日本の食べ物や文化を楽しんでくれていたようだったので良かったです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

Ce fut un privilège de rencontrer M. Yasayuki Kobayashi, directeur principal du Bureau des affaires internes du gouvernement de Hokkaido. Notre échange fut inspirant, alors qu'il partageait le travail de Hokkaido pour attirer des investissements en énergie propre et leurs stratégies novatrices pour relever les défis liés au déclin démographique. J'ai été particulièrement impressionnée par l'intégration harmonieuse de la technologie dans les services publics, garantissant efficacité et accessibilité. Tout aussi remarquable est l'équilibre entre l'urbanisme et les espaces verts, reflétant les réalités et les besoins de la population locale. Des échanges comme celui-ci mettent en lumière l'importance de construire des ponts et de créer des relations pour partager les meilleures pratiques. Ensemble, nous pouvons apprendre les uns des autres et bâtir des communautés plus durables et inclusives à l'échelle mondiale. 🌱💚 It was a privilege to meet Mr. Yasayuki Kobayashi, Senior Director of the Hokkaido Government's Bureau of Internal Affairs. Our conversation was inspiring as he shared Hokkaido's work in attracting clean energy investments and their innovative strategies to address the challenges of a declining population. I was particularly impressed by how technology is seamlessly integrated into the delivery of public services, ensuring efficiency and accessibility. Equally remarkable is the way urban planning and green spaces are harmonized, reflecting the realities and needs of the local population.	 I had the pleasure of reconnecting with an old friend, Takamasa Ito-san, formerly the Vice-Consul at the Consulate-General of Japan in Calgary and now Senior Staff at the International Affairs Division, Hokkaido Government. With the privilege of meeting Yasayuki Kobayashi, Senior Director of the Bureau of International Affairs. 🌏💡 One of the most inspiring takeaways was learning about Hokkaido's focus on fostering startups—especially in CleanTech, Agtech, and Aerospace! Later in the evening, I connected with Miho Tanaka-san, Head of Internationalization for SIARIUP HOKKAIDO and Head of Innovation Week for Hokkaido. We had the opportunity to discuss our ecosystems and celebrate with the completion of Calgary's innovation week as they ramp up their preparation for Hokkaido Innovation Week! 🌟💡 I also had the fantastic opportunity to visit the Deep Tech Core Sapporo and see firsthand how they support founders, particularly in the AR/VR space. Hearing about exciting developments like semiconductor factories and data centers within Hokkaido's innovation ecosystem was truly exciting and a
2024 年 12 月 18 日（LinkedIn） 北海道庁国際局長に表敬訪問でき、光栄でした。クリーンエネルギーの投資を誘致する北海道の取り組みや、人口減少という課題に対応するための革新的な戦略を紹介してくださいました。意見交換も活発で、有意義な訪問でした。（後略）	2024 年 12 月 18 日（Instagram） 在カルガリー日本国総領事館の副領事をしていた、よき友人であり、現在は北海道総合政策部国際局国際課に勤めている方と再会することができ、嬉しく思いました。また、北海道総合政策部国際局長への表敬が実現したことも光栄に思いました。（後略）
 Government Relations at The Canadian Real Estate Association... As part of the Kakehashi (Bridge) Project, I had the honour of meeting Vice-Minister for Foreign Affairs of Japan, Ms. Arriya Eri to discuss the partnership between Canada and Japan. We also met with the Business Council of Canada, Trevor Kennedy where we learned about their advocacy on behalf of Canadian companies operating in Asia and their recent expansion with a new office in Japan. These discussions highlight the importance of fostering economic partnerships (such as	 Honore d'avoir été invité par le ministre des Affaires étrangères du Japon pour participer au programme Kakehashi: Young Leaders. Je suis ici au Japon avec quatre autres Canadiens de divers horizons professionnels pour prendre part à un échange culturel et de leadership. Notre parcours a commencé par une rencontre enrichissante avec le peuple Ainu, reconnu officiellement comme peuple autochtone par le Japon en 2008. Un merci tout particulier au consul général du Japon à Montréal, Akihiko Uchiyama, pour son soutien et sa confiance. Reconnaissons pour cette occasion unique d'apprendre, de tisser des liens et de renforcer les relations entre nos communautés. 🇨🇦🇯🇵 I'm here in Japan with four other Canadians from diverse professional backgrounds to engage in this cultural and leadership exchange. Our journey began with a meaningful encounter with the Ainu people, officially recognized as Japan's indigenous people in 2008. A special thank you to Consul General of Japan in Montreal, Akihiko Uchiyama, for his support and trust. Grateful for this opportunity to learn, connect, and strengthen ties between our communities. 🇨🇦🇯🇵 #Kakehashi2024 #ProjectKakehashi #ExchangeCultural #Hokkaido
2024 年 12 月 19 日（Facebook） カケハシ・プロジェクトの一環として、英利アルフィヤ外務政務官にお会いし、カナダと日本のパートナーシップについて話し合う機会に恵まれま	2024 年 12 月 19 日（LinkedIn） 日本の外務省のカケハシ・プロジェクトの若手リーダープログラムに参加させていただき光栄です。様々な専門的背景を持つ 4 人のカナダ人と

した。また、カナダ・ビジネス評議会がアジアで事業を展開するカナダ企業のために、行っているアドボカシー活動や、日本に新たに事務所を構えてから行っている事業拡大活動について教えていただきました。これらの話し合いによって、経済的パートナーシップを育むことの重要性を実感しました。（後略）	もに私もこのリーダープログラムに参加し、現在多くの文化交流を日本で行っています。プログラムの最初に訪れたのは、2008年に日本の先住民族として正式に認定されたアイヌの人々への訪問で、大変有意義な出会いでした。お互いのコミュニティについて学び、つながり、絆を深めるこの機会に感謝しています。
---	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、北海道 全1グループ発表



【成果の発表】

◆ 訪日全般の学び：

- ・カナダと日本の政策の違い（特に若者、マイノリティー、女性問題関連）
- ・カナダに進出する日本企業の傾向
- ・日本技術のレベルの高さとイノベーション性（HARUMI FLAG^{（注）}、空港のセキュリティチェック、スタートアップ企業等）

（注）HARUMI FLAG：東京都中央区晴海五丁目の再開発プロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村として使用され、大会後は住居エリアとして改修された。官民連携のまちづくりプロジェクト。

◆ 気付き：

- ・アイヌ文化とカナダの先住民が持つ文化は類似点が多く、食事も似ています。
- ・抹茶体験を通して、香りを十分に楽しむために必要な工程やお湯の温度などについて学びました。
- ・日本文化のすばらしさについて、特に利便性と安全性が高く、子供が一人で電車移動していたのが印象的でした。

【アクション・プラン】

発信とは別に、参加者が各自でアクション・プランを実施。

① 既存の関係を強化

モントリオールと広島は姉妹都市関係にあり、その活動を活性化し、より強固な関係を構築したいと思っています。日加外交樹立95周年に合わせて関係者と話を進めていきます。3か月以内に今回のプログラムの報告と併せてコンタクトを取り始め、数年単位で活動をしていきます。

② 資源採掘事業への投資

カナダ・ビジネス評議会のインド太平洋事務局や経団連などともつながることができたので、このつながりを活かし、今後日本の製油所や企業との関係性を深めていきたいと思っています。

② 経験と教訓の共有

プログラムを通して多くの発見があったので、多くの人にそれらの発見を共有していきます。まずは自分を含め、周りで抹茶が好きな人は多いですが、抹茶体験を通して今まで自分は間違った淹れ方をしていたことが分かったので正しい方法を共有していきます。そして HARUMI FLAG というまちづくりプロジェクトでグリーンエネルギーなどを使用する構想を学びましたが、まだカナダ（オタワ）にはそのようなプロジェクトが無いので、帰国後にパナソニックなどと連絡を取り合うことでさらにプロジェクトについて伺い、カナダでも実現できないか模索したいと思います。

③ カナダのユダヤ系コミュニティと日本人コミュニティの橋渡し

自身が行っている活動（普及、ホロコーストの教育、ヘイト防止活動等）を日本人コミュニティに共有するだけでなく、日本の文化（アイヌ、宗教、抹茶等）を自分のコミュニティに共有できるようなイベントを開催したいです。

⑤ カルガリー・ジャパニーズ・コミュニティセンター

既にコミュニティセンターの建設は決まっているため、そのセンター内で行われるアクティビティなどをより豊かなものにしたいです。生け花や茶道体験などはもちろん、今回のプログラムで学んだアイヌ文化について共有したり、学生同士の交流を促すなど、真の意味で「カケハシ」となるような場にしたいです。そしてこれらのアクティビティを行うメインホールの名前を「KAKEHASHI HALL」にできないか、自分も一員である役員会で議題としてあげる予定です。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）